

課題改善カリキュラム(教科の単元系統図)

1 課題改善カリキュラム1 (社会科の単元系統図)

| 小中共通での課題 資料から読み取り、自分の考えを述べることを苦手とする。 | | 課題 児童・生徒の関心を引き出し、資料を読み取る力を育成するための指導の工夫 | | |
|---|-------|---|---|--|
| 区分 | 学年 | 身に付けさせたい資質・能力 | 指導の工夫 | 単元 |
| 小学校 | 3・4年生 | ・地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や具体的な資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連等について考える力、調べたことや考えたことを表現できる。 | ・児童の興味関心を高めるための資料の提示を工夫する。 ・資料の読み取りは、写真や絵などから読み取るポイントについて確認する。 | ③「わたしたちのまち」 ④「安全な暮らし」「わたしたちの東京都」 |
| | 5・6年生 | ・歴史や政治について、地図や地球儀、年表等の複数の資料から読み取りを行い、自分の考えをもつことができる。 ・日本の工業生産について、地図や地球儀、資料等から読み取ったことから自分の考えをもつことができる。 | ・資料の読み取りでは、グラフや図など、複数の資料から読み取れるポイントについて確認する。 ・資料を読み取る際に、見て分かることと自分の考えを区別して表現させる。 | ⑤「わたしたちのくらしと国土」 「食料生産を支える人々」 ⑥「日本の歴史」 「世界の中の日本」 |
| 中学校 | 1年生 | ・世界の様々な地域の地理的特色や中世までの時代の特色について、いろいろな資料を、いろいろな角度から多面的・多角的に読み取り、その読み取ったことから、自分の考えをまとめ、意見として発表ができる。 | ・授業の中で、様々な資料を提示し、その資料から分かることを読み取らせ、そのことから自分の考えをまとめ、発表させる。 | ①「世界の様々な地域」 「近世までの日本とアジア」 ②「日本の様々な地域」 「近現代の日本と世界」 |
| | 2年生 | ・日本の様々な地域の地理的特色や近世以降の時代の特色について、資料を基に多面的・多角的に考察するとともに、資料のどの点から読み取ったか、根拠を明らかにし、文章や言葉で表現することができる。 | ・毎時間の中で様々な資料を読み取る活動に継続的に取り組み、資料活用能力を高められるようにする。気付いたことを幅広く記述させ、資料の読み取りに対する抵抗をなくしていく。 | ③「私たちと政治」 「私たちと経済」 |
| | 3年生 | ・様々な統計資料や写真などから、多面的・多角的に考察し、現代社会の特色や課題について読み取ったり自分の考えをもったりすることができる。 | ・「日本の年代別投票率」や「世界の国別投票率」など、現代社会(日本)の課題を読み取ることに加えて、どのような対策をすればよいか、自分の考えをもてるような資料を用いる。 | |